

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
家庭	講義	2	須川 妙子
【授業のテーマ及び到達目標】 授業のテーマ： 家庭の役割についての基礎知識の習得し、教科としての「家庭」の意義を考える。 到達目標： 家庭にかかわる諸問題を発見してその解決策をみだし、「家庭」教育の意義を理解することができる。			
【授業の概要】 家庭の役割についての基礎知識について、他教科との関連を含めた講義を主とする。講義内容にかかわる簡単なレポートを授業中に書いて提出することもある。14 回目の授業では、講義内容と自分で調べてきたことを踏まえたグループ討論を行い、教科として「家庭」を教える意義の理解を深める。			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス(授業の目標、授業の進め方、14 回目の説明(テーマ、調べておくことなど)など)、「家庭」を教えることの意義を考える。			
2. 家庭科とは(教科の目標と内容、教員の資質など)			
3. 家庭生活と家族			
4. 生活時間と家事労働			
5. 食の役割と計画			
6. 食品の選択、保存、調理			
7. 衣の役割と科学			
8. 衣生活の計画			
9. 住の文化			
10. 住生活の工夫			
11. 家庭の経済			
12. 消費生活			
13. 環境問題			
14. 子どもの家庭生活の現状と課題、改善策を考える(討論会)			
15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方： 家庭について関心をもって過ごす。授業で指示された課題に取り組む。			
学習のあり方： 積極的に、真摯な態度で受講する。授業内容は自筆で書き取る。(写真撮影、パソコン入力禁止)			
復習のあり方： 授業内容をまとめ、自分で見つけた課題(疑問点など)を調べる。			
【成績評価】			
試験(40%) 提出物(30%) 受講態度(30%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
提出物にはコメントを記入して返却する。授業中の課題に関しては、口頭でコメントすることもある。			
【テキスト】			
特になし			
【参考文献】			
文部科学省『小学校学習指導要領解説 家庭編』東洋館出版部			
加地芳子・大塚 眞理子 編著『小学校家庭科概論 生活の学びを深めるために』ミネルヴァ書房			